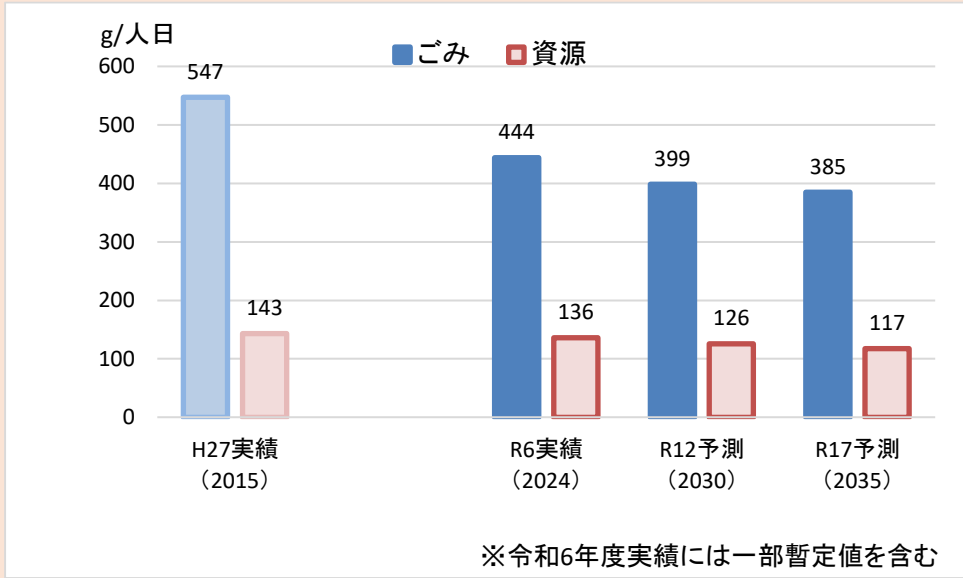


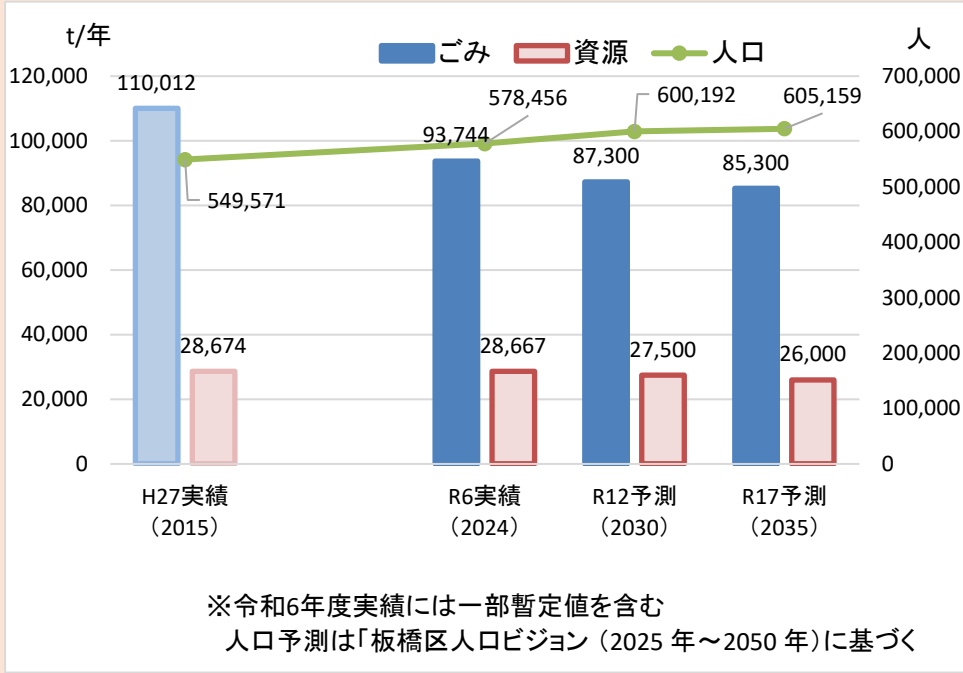
今後のごみ・資源量の見通し

現状のまま推移した場合、引き続きごみ・資源量は減少の見通しです。

■区民1人1日あたりのごみ量・資源量の見通し



■年間排出量の見通し

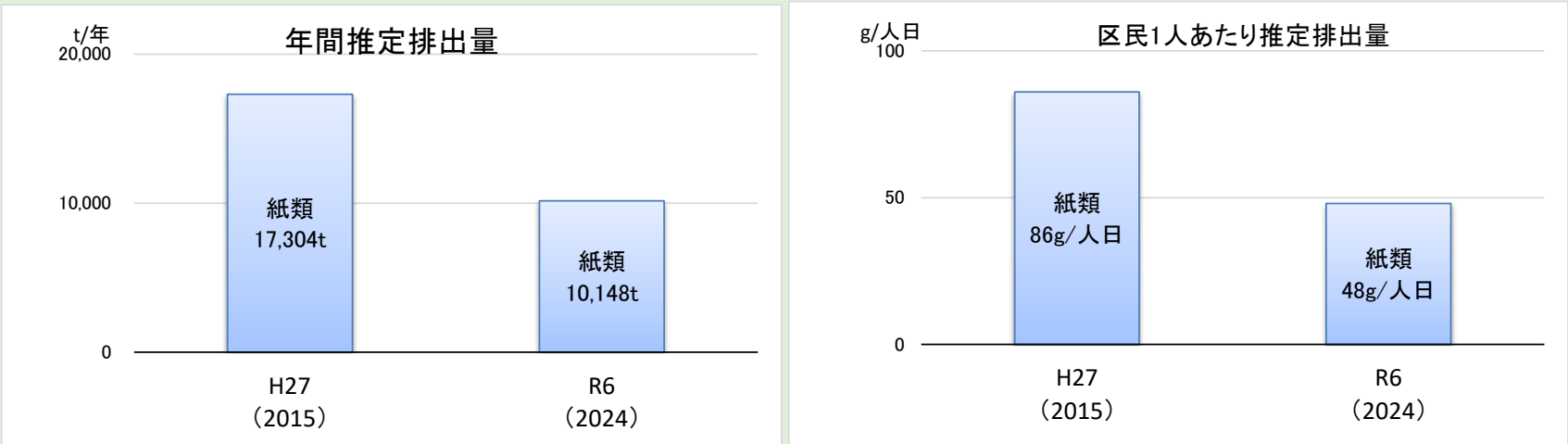


主要品目別のここ10年間の変化

平成27（2015）年度、令和6（2024）年度のごみ組成分析調査から、紙類、プラスチック類、生ごみ・食品ロスのごみ（可燃ごみ・不燃ごみ）への排出量を算出しました。

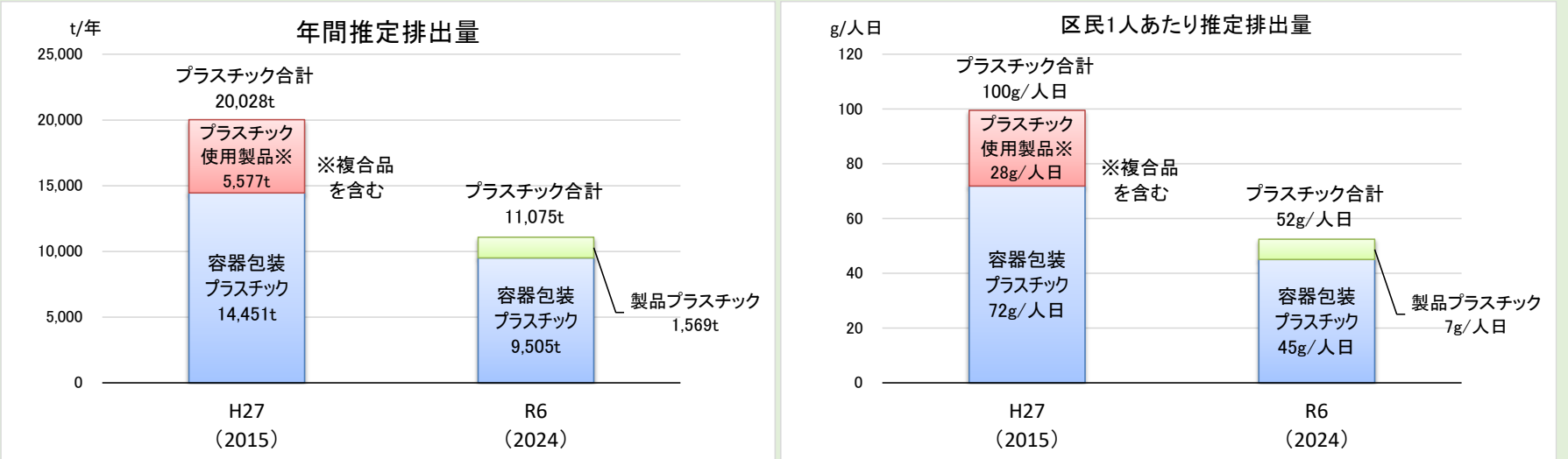
■紙類の排出量の変化

ごみに排出される資源化可能な紙類は、新聞紙などの排出量の減少により10年間で大幅に減少しています。



■プラスチック類（容器包装プラスチック+製品プラスチック（プラスチックだけでできている製品））排出量の変化

令和6（2024）年4月の区内全域でのプラスチック資源分別開始もあり、ごみの中のプラスチック類は大幅に減少しました。



■生ごみ・食品ロス排出量の変化

令和6（2024）年度の組成分析調査で、区民1人1日あたりの食品ロス排出量は39g/人日と推定されました。

